

新図書館等複合施設の基本設計案説明会 開催概要

- 1 日 時 令和4年2月16日(水) 午後3時00分から午後4時50分
- 2 場 所 オンライン開催
- 3 出席者 妙高市図書館 2名(図書館長、司書)
学校図書司書 4名
関係団体 2団体 3名
- 4 説明者 4名(㈱佐藤総合計画:建築(意匠)主任技術者管 牛込具之、
意匠担当 小寺亮、東裕子、尾藤勇志)
- 5 事務局 7名(生涯学習課:平井課長、余野室長、小林係長、木浦主事、齊木主査
建設課:渡部参事、山岸技師補)
- 6 次 第
 - 1) 開会
 - 2) あいさつ
 - 3) 新図書館等複合施設の基本設計等について
 - ①概要説明
 - ②詳細説明(設計のコンセプト、考え方、雪対策など)
 - 4) 閉会

1) 開会

2) あいさつ

○生涯学習課 [生涯学習課長あいさつ]

3) 新図書館等複合施設の基本設計等について

①概要説明(資料1)

○生涯学習課 建設地は市役所の斜め向かい、朝日町一丁目他地内で、敷地面積は約4,290㎡である。意見交換会では、敷地内の雪処理や駐車場に係る意見を多くいただいた。敷地の南東側に、雪処理を考慮してコンパクトな六角形の建物を整備する。建物の構造は、鉄筋コンクリート、一部鉄骨造3階建て、積雪荷重3メートルの耐雪型で、延べ床面積は約2,840㎡である。駐車場は、東西合わせて57台、障がい者や妊産婦用のおもいやり駐車場を3台、南出入口付近に駐輪スペースを確保する。駐車場及び建物周辺の除雪は、消雪パイプと機械除雪を併用し、円滑に機械除雪を行えるよう、敷地内に極力段差を設けないよう配慮する。また、おもいやり駐車場から西出入口にかけては、耐雪型の庇を設置する。建物及び庇の雪庇対策として、軒先に融雪ヒーターを設置する。中町側からの歩行者動線は、西駐車場の南側が通路となる。この通路に雁木を設置してほしいとの意見もあったが、機械除雪の支障になることや、雪下ろしの作業が発生することから設置はせず、安全柵を設置する等、歩行者の安全確保を図る。

施設の1階には、東、西、南の3か所に出入口を設ける。車で来て、東と西出入口から入館する方が多いと推察されるため、北側のエントランスにはプレイルームへの出入口や2階、3階へのエレベーターと階段を配置した。一方、冬でも暖かい南側には、プレイルームや一時預かり室、カフェを配置する。

プレイルームの棚フレームには絵本や子育てに関する本を配置し、1階で貸し出しや読み聞かせなどを行う。東側の多目的ルームは、各種団体の利用やイベント開催のほか、中学生・高校生の学習室としてのニーズが高い時期は、臨時の学習室にするなど、多様な使い方が考えられる。

2階は、生涯学習の拠点として、市民活動やグループ学習、ボランティア活動など、人と活動が繋がる創造の場としている。小学生向けの図鑑や雑誌、中・高生などのヤングアダルト向けの本や雑誌、CD、DVDなどを配置する。また、意見交換会などでは、中・高生の学習スペースの確保についての意見が多くあった。この対応として、利用者が好みの環境で学習できるようなスペースを設けている。また、テレビ会議ブースや視聴覚ブースを設置するなど、多様なニーズに対応する。このほか、意見交換会などでは、音楽の練習などに対応できる部屋の設置の意見があり、市民活動室は、防音効果があり、音楽の練習にも対応できる構造とすることも検討している。

スタッフルームからボランティアルーム、閉架書庫については、動線や各階からのアプローチを勘案し、人的な連携がしやすいような配置とした。

3階は、フロアの周りを書棚が囲み、中央階段から目的の書棚や場所にコンパクトにアクセスできるように配置している。施設は、1階の活動的なフロアから上の階へ上がるにつれて静かな階となるよう、音に対する配慮を行い、さらに3階フロアにおいても、西側には児童図書を、北側には落ち着いて読書ができるエリアを設け、音のゾーニングにより、誰もが気兼ねなく利用できるように配慮している。

屋上階は、館内フロアを広くとるため、機械室等を屋上に配置した。

概算事業費について、現時点における本体工事費は、17億5,000万円である。これは、建物本体工事費、東西駐車場及び消雪パイプ等の外構工事費、建物に固定する書棚等備品類などを含めた金額であり、いきいきプラザ等の解体工事費は含まれていない。

事業スケジュールについて、当初計画では、令和4年度に用地買収、工事着手、令和7年度春頃に施設の供用開始としいたが、今後も物価の上昇や各種資材の調達が困難な状況が続くことが予測され、入札の不調による混乱、発注後の工事の遅延などを回避するため、本格的な事業着手を遅らせることとした。

令和4年度は、実施設計の完了、用地交渉等を行い、令和5年度には用地買収後、東側の建物本体と駐車場整備工事に着手する。令和7年度に工事を完了し、供用開始を目指す。建物工事完了後、いきいきプラザの解体工事に着手し、令和8年度に駐車場整備工事を行いグランドオープンとなる。

②詳細説明 設計のコンセプト、考え方、雪対策など（資料2）

○佐藤総合計画 [資料に沿って説明]

(質疑応答)

- 関係団体A 駐車場について、東西の駐車場は通常時行き来できるのか。当初は車止めで歩行者が安全に通行できるというイメージを持ってたが、車が通り抜けできることによる危険性がないか心配である。
- 佐藤総合計画 通常は東西の行き来が可能であるが、必要に応じ、イベント時などには車の通行を制限する運用を考えている。
- 関係団体A 車が常時行き来することによる危険性はないか。
- 佐藤総合計画 今後詳細を詰めていく中で安全性に配慮しながら進めていきたい。
- 関係団体A 駐輪場は南側に1か所だけとなっている。出入口が3か所あるが、それぞれに駐輪場が必要ではないか。
- 佐藤総合計画 高校生などが、南側の文教エリアから多く来館することを想定し、駐輪場を南側にまとめて配置している。他の2つの出入口は、庇下が歩行者ルートになるため、駐輪場の設置は難しい。
- 関係団体A 1階に予約本コーナーを設置した意図はどのようなか。2階か3階の設置が妥当と考える。また自動貸出機の設置についても同様にどのような考えか。
- 佐藤総合計画 新施設では本にICタグを貼って、本の自動貸し出しをすることで進めている。利用者が本を予約して、それを1階の入口の近いところに置き、短時間でサービスが完結するような流れを想定し、1階の出入口の近くに予約本コーナーを設置した。
- この建物は1階から3階まで全てが図書館という捉え方で設計を進めている。1階にも本があり、2階にもあるという中で、借りたい本を見つけた時に、そこで自動貸出処理できるよう自動貸出機を配置している。
- 予約本コーナーは他の図書館でも入口の近くにあり、本を取ってすぐ帰る方が多く、利用頻度の高いコーナーになると思われる。
- 関係団体A 予約本コーナーを1階に配置するのは、図書館職員の動線を考えると手間が増えるのではないか。また、利用者は、予約本コーナーの本を取りに行くだけでなく、その他の本も当然見ると思う。予約本コーナーは3階、或いは2階にあった方が、より親切ではないか。
- 佐藤総合計画 予約本コーナーが定着すると、自分が予約した本だけを短時間で借りて帰る利用が増えることになるので、1階に配置している。
- 関係団体A 今日の説明会時の要望や意見は今後検討されるのか。この図面が最終案で、検討の余地はないのか。
- 生涯学習課 基本設計は年度内にまとめたいと考えている。いただいた意見は、再度検討する。また、意見の中には実施設計や運営方法の検討の中で考えていくべきものがあり、それぞれの過程で参考とさせていただく。
- 関係団体A ブックポストは、例えば図書館が長期に休館した場合に、そこに集中的に返却される場合があるが、どの程度の容量に対応しているのか。
- また、守衛室には、施設の管理やメンテナンス等を行う職員が入るのか。

さらに、カフェはどの程度の利用人数を想定しているのか。例えば弁当持ちで閲覧や調査をしに来た人たちが、弁当を食べられる場所はどこかに設定されているのか。

- 佐藤総合計画 ブックポストには、ブックカートが1台分入るようなスペースを想定している。守衛室は、子育て広場が閉まった後に1階部分の管理等を守衛員が行うことを想定している。飲食については1階のエントランス空間全体が飲食可として整理している。
- 関係団体A 2階のバックヤードに収納スペースや倉庫があるが、この目的は何か。
- 佐藤総合計画 1階や2階に生涯学習関係の作品等が展示できるようなスペースがあり、展示用のボード等を収納するため、バックヤードに収納スペースを取っている。
- 関係団体A これは生涯学習課からの要望か。
- 生涯学習課 そうである。
- 関係団体A 出勤した職員のスタッフルームまでの動線はどのようか。
- 佐藤総合計画 西出入口から階段やエレベーターを使って、スタッフルームまで行く流れになる。
- 関係団体A 9月の説明会の図面では職員通用口があったが、なくしたということか。
- 佐藤総合計画 現状の使い方や守衛室の関係等を考慮し、利用者出入口の方に職員通用口を集約しながら、プレイルームや展示スペースなど極力利用者が使えるスペースを確保したものである。
- 関係団体A 作業室兼ボランティアルームについて、ここは主に図書館員が、本の受け入れや整理をしたり、或いは選書会議をしたり、そういうスペースになると思われる。
この部屋が仕切られているように見えるが、これで良いのか。また、作業室とスタッフルームの面積は、十分作業でき、日常勤務するだけの余裕あるスペースか。
- 佐藤総合計画 スペースを有効活用する工夫の一つで、スタッフやボランティアが多目的に使える、広いエリアを取っている。
通常は廊下があって、休憩室があって、ボランティアルームと設えるが、廊下的な広い空間を設けることで、スペースを有効活用したいと考えている。
- 関係団体A 仕切られたスタッフの休憩室は作ってほしい。湯沸かし室のようなものも必要だと思うがどうか。
- 佐藤総合計画 先ほどのスタッフとボランティアが多目的に使用する共用部にシンクを設け、職員が食事をする時に使えるよう考えている。
- 関係団体A 利用の形態を考えると、2階なり、3階から資料を要求されたときにスタッフはボランティアが打ち合わせしているようなところを通らないと、書庫資料に至らない。不都合が生じるのではないか。
- 佐藤総合計画 廊下的な設えの中にスペースを広く取って、その中にパーティション等で区切るなど通路部分をつくり、動線は確保する。
- 関係団体A 3階のメインカウンターで書庫資料を請求される。運ぶときには手で運べるものだけではなくて、新聞等重いものもある。それらは台車やブックトラックを使って、上下に移動させることになると思うが、エレベーターは利用者と共用の1か所しかない。職員と利用者の動線が交わるが、いかがか。

○佐藤総合計画 今回の建物の規模や現状の図書館の利用頻度等を分析する中で、利用者のエレベーターとスタッフのエレベーターを併用しても支障ないと判断した。一方で、エレベーターのサイズは、ブックトラックが十分に入るようなサイズを設定しながら、1か所にまとめた。

3階のメインカウンターからの資料請求に対する資料の出納方法として、3階で請求を受けた職員が階段なりエレベーターで直接書庫に行く動線と、或いは受けた職員が内線で下のスタッフルームに電話して取りに行ってもらいやり方がある。

閉架書庫のエレベーターの前に、扉を設けて閉架書庫で探した本をすぐエレベーターで持って行くこともでき、階段も使えるというようなコンパクトな動線を考えている。

○関係団体A 図面では、テーブル、椅子などをどう配置するかわからないが、どう考えているのか。

○佐藤総合計画 今は基本設計の段階なので、テーブル等の配置までは入っていない。今後実施設計の中で、図書館にとって重要な机、椅子の配置を計画的にデザインしながら進めていく。

○関係団体A 窓側に向けた2階北東側の学習スペースと3階の閲覧スペースのねらいは何か。

○佐藤総合計画 ここは大きな開口部があり、外の景色を眺望することができるため、このように配置した。

○関係団体A 1か所に固めた閲覧スペースが本当にいいのかどうかという検討と、もう少しフロアの閲覧席を増やし、全体に散らばせて、書架群と溶け合うような配置にするということも一つ検討していただきたい。

書架の配置の向きについて、これもこういう向きが良いのか。先ほどの説明の中では、通路から配架がわかりやすいという説明があったが、かえって階段を上がってきた人たちが、見通せないと思った。この書架の配置も、これでいいのか検討してほしい。

○佐藤総合計画 直角が良いのか、平行が良いのか平行が良いのかは、これからの検討になる。近年建設された、東京都昭島市の図書館は、これに近い配架をしている。中央に縦動線があり、それを囲うように本棚がある。本に囲われた空間を体験しながら、いわゆる本との出会いを誘発するようなレイアウトにしている。一長一短があり、模型なども作りながら進めていきたい。

○関係団体A 3階のカウンターは、狭くないか。このままで仕事ができると考えているか。

○佐藤総合計画 カウンターの後ろに返却本の仮置きができる棚があり、そこからカウンターまで2メートル以上あり、十分なスペースになっている。この部分については、現図書館側にも確認しながら進めている。

○関係団体A レファレンス等の調査、相談に訪れた利用者のカウンターでのプライバシーの確保に対する考え方は。

○佐藤総合計画 通常カウンターの近くに相談室や個別ブースのようなものを作って対応することもできるので、今後の参考にしたい。

- 関係団体A 児童図書のコーナーについて、基本構想の中では読み聞かせができる部屋をつくるとなっているが、どのようになるのか。
- 佐藤総合計画 読み聞かせ会については、1階のプレイルームや多目的室等も有効活用したいと考えている。日常的な親子の読み聞かせは、靴脱ぎスペースを設けている。
- 関係団体A 現在の図書館でもお話会をやっており、そのためのスペースをとっている。ある程度のスペースの確保と子どもの集中力や雰囲気づくりのための仕掛が必要である。パーティション等で仕切るなどの工夫はどうか。
- 佐藤総合計画 靴脱ぎスペースや1階のプレイルーム等に遮音カーテンを設けるなど工夫したい。どこにどう設えるかは、引き続き検討していきたい。
- 関係団体A BDS（本の持ち出し防止装置）は設置するのか。
- 佐藤総合計画 設置する予定である。
- 関係団体A どこにBDSを設置する想定か。
- 佐藤総合計画 1階出入口の3か所にそれぞれBDSを設け、持ち出しに対してセキュリテイを設ける。
- 関係団体A 2階、3階におむつ替えや授乳ができる部屋はあるか。
- 佐藤総合計画 今のところ2階、3階には設けていないが、各階に多目的トイレにベビーシートを設置するなど工夫できる。引き続き検討したい。
- 関係団体A 多目的トイレの機能はどのようか。
- 佐藤総合計画 実施設計の中で詳細を詰めていくことになるが、一般的には手すり付きの大便秘器等になる。オストメイトやベビーシートをどこに入れるかは今後検討していきたい。
- 関係団体B 2階のボランティア室の位置は、使い勝手や動線のことを考えると、以前のような開架フロアに面している方が良いのではないか。
- 3階の読み聞かせコーナーの面積が小さくなっている。1階で乳児向けの読み聞かせを行うことも可能だが、3階の児童へ読み聞かせをするものでは内容が違う。両方に場所があれば良い。カーテンで仕切っても良いが、子ども同士でも親子でも利用できるようにしてほしい。2階のボランティアルームから、1階、3階での読み聞かせを想定した動線も考えてほしい。
- 佐藤総合計画 ボランティアルームの位置については、引き続き検討していきたい。
- 子どもの読み聞かせや本とのふれあいについては、例えば児童閲覧スペース全てを常足にする方法と、一部にする方法があるが、どちらが良いと思われるか。
- 関係団体B 「静」と「動」ということを考えると、声の響きなども考えなくてはならないので一概には言えない。
- 関係団体A 設置者として特殊コレクションをどの程度収集して展示するとか、特殊テーマについて、こういった見せ方をしたいとか、サービス内容が書架の数量や配置、家具の配置に影響が出てくる。
- そういったことに対して、市民の意見を吸い上げるような機会は、今後あるのか。

○生涯学習課 新しい図書館の運営は、施設の基本設計、実施設計がある程度固まった時点で、準備を進めていく。蔵書等については、どのタイミングでどの程度の量をそろえていくか、来年度蔵書計画を再度見直したいと思っている。現時点でも何か運営についてのご意見があれば、今後の参考としたい。

学校図書司書より「1階に図書館スタッフがいないのなら、機械は置くべきでないと思います」、「援護室になるところはありませんか」との質問があったがいかがか。

○佐藤総合計画 1階の機器設置については、今後調整しながらになるが、他の図書館の事例では、開館して数ヶ月は使い方などをスタッフがフォローをする必要がある。また、図書館ボランティアの協力を得ながらというやり方も考えられる。機器の使い方などは、ある程度の期間を過ぎると利用者が慣れ、問い合わせも少なくなる。1階から3階が図書館であると考え、1階にも自動貸出機を設置した方が良いのではと思っている。

救護室は、ボランティアルーム兼作業室のスペースをカーテン等で囲うなど設えを今後検討したい。

○関係団体B 今回の図面の資料は印刷物として提供されるか。

○生涯学習課 資料は後日、市のホームページで公開する。

○学校図書司書 学校で団体貸出しするような場合は1階の予約本コーナーになるのか。

○佐藤総合計画 団体貸出しの受渡しは、2階を想定している。

○市図書館 1階から3階までが図書館という考え方であるが、資料が1階から3階まで移動するということは、職員も1階から3階まで移動することになる。職員の動線を考えていく必要があると感じた。

また、日常清掃や機械のメンテナンスを行う人の控え室が必要ではないか。

○関係団体A 資料の配置について、2階は雑誌、新聞、ヤングアダルト、視聴覚資料、主にその3種類の配架となるか。

○佐藤総合計画 想定はしているが、配架の詳細はこれからである。

○関係団体A 利用しやすいよう検討してほしい。

○生涯学習課 いただいた意見を再度検討し、年度内に基本設計をまとめたい。翌年度実施設計を進める中で詳細詰めていきたい。以上で説明会を閉会する。